

# 図書館員を利用しよう

## 6.1 図書館には図書館員が待っている！

図書館ではみなさんの学習を助けるために、図書館員がさまざまな形のサービスを行っています。この章でご紹介するサービスを参考に興味があるものはどんどん利用してみてください。図書館員がみなさんをお待ちしています！

### 6.1.1 図書館員は情報（コンテンツ）のスペシャリスト

図書館を利用すればいろんな資料が手に入ります。図書や雑誌に参考書、新聞記事に論文など、分野も年代幅広く多種多様です。効率よく探すためには、蔵書検索（OPAC）やデータベースを使いこなすスキルが欠かせません。使いこなすことができれば、図書館にいながら日本国内に留まらず海外の資料や論文だって見つけることができるようになります。

使い方はそんなに難しいものではありません。ちょっとしたコツさえ掴めば、誰でも簡単に利用できます。そのため図書館では定期的に「図書館講習会」や「データベース講習会」を行い、それぞれのコンテンツを熟知した図書館員が使い方を分かりやすくお伝えしています。講習会の詳しい内容は、ウェブサイトや図書館の掲示板でお知らせします。

また、これらの講習会を授業と連携させ、受講者に合わせてカスタマイズした内容をお届けする「出前講座」も行っています。



図 6-1 データベース講習会

### 6.1.2 図書館員の役割は課題解決とアカデミックスキル習得の支援

大学生に必要なことは自立して学んでいく姿勢です。講義で学んだことを土台にしながら、興味のあるテーマを見つけ、情報を集めて結論を導き出すことが期待されています。そのための重要な手段の一つが図書館、そしてそこに所蔵されている資料や図書館員の存在です。図書館に行けば、専門的な資料やそれに精通したスペシャリストである職員のサービスが受けられます。

自立した学習になくてはならないスキルにレポートの書き方、図書館の使い方、文献の検索と引用の方法といったアカデミックスキルがあります。大学生生活の第一歩を踏み出したみなさんにこの大切なスキルを身に付けてもらうため、図書館員も教員の方々と同じように授業の支援を行っています。

教養教育科目「学士力・人間力基礎」では授業のカリキュラムに「アカデミックスキルの基礎」を組み込み、授業の一環として図書館員からみなさんにアカデミックスキルとはどんなものか学生の目線に立ってレクチャーしています。今後の学生生活を大きく左右するアカデミックスキル。ぜひこの授業で自分のものにしてください。

## 6.2 利用できる学修支援サービス

### 6.2.1 パーソナルライブラリアンというシステム

パーソナルライブラリアン (Personal Librarian) とはアメリカの大学図書館で始まったサービスです。図書館を初めて利用する新生入生に専属の図書館員 (Librarian) がつき、学生のパートナーとなって細やかな支援を行います。長期に渡って継続的に関わりを持つので、より発展的で一人一人に適したアドバイスを提供することができます。

例えば「富山の自然環境について」というテーマのレポート課題が出たとします。みなさんはどんな方法で情報を集めますか？

まず思い浮かべるのが「富山」「自然環境」という二つのキーワードを Web で検索してみるのが多いのではないのでしょうか？最新の情報を手に入れたい時、インターネットは非常に便利なツールです。しかし、便利な反面、正確で十分な根拠がある情報なのかどうか見極めるスキルが必要になります。

そんな時に頼りになるのが図書館員です。情報の見極め方、正確な統計やデータをどこで扱っているのか、レポートに引用しても問題ないのかなど必要なことを教えてくれます。

では、今まで「富山の自然環境」について先人の研究者たちが何を調べたのか、どのように研究してきたのか、分かっていることや現在の課題について調べたいときはどうしたら良いのでしょうか。こんなときは専門に書かれた図書や研究者たちの論文を読みましょう。大学図書館が所蔵する膨大な資料の中から、知りたい情報が載っている資料をどうやって探し出しますか？何となく良さそうなものを読んでみるのも良いかもしれません。ですが、他にもっと良

い資料を見落としてしまうかもしれません。見つけるのに手間どることもあるでしょう。

そんな時にも頼りになるのが図書館員です。調べたいテーマに相応しい資料の紹介、効率よく資料を集める方法、図書館以外から資料を入手する手段など、幅広い視点でみなさんの学習がもっと捗るようにサポートしています。

パーソナルライブラリアンは、初年次の学生が対象です。担当期限は 1 年間で先着 50 名まで受け付けます。詳しい内容はウェブサイトや図書館の掲示板でお知らせします。

### 6.2.2 相談したいときの窓口

図書館には、図書館の利用や資料・事柄等に関する相談を受け付ける窓口があります。問い合わせには次の方法があります。

- ・レファレンスサービス

図書館のカウンターで図書館員に直接相談できるサービスです。

- ・バーチャルレファレンスサービス

直接図書館に行かなくても電子メールで質問できるサービスです。場所や時間を問わず手軽に相談できます。

バーチャルレファレンス宛先：[oshiete@adm.u-toyama.ac.jp](mailto:oshiete@adm.u-toyama.ac.jp)

\*個人情報に関する質問、人生相談、病気の相談、物の鑑定など一定の要件についてはお答えできませんのでご注意ください。